WAKAYAMA WORKERS' UNION
組合NEWS
２０２６年６月２４日(水)
第　１　５　４　２２　号
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

組合LINE　組合HP

代表内線番号　和歌山地区本部　543590
堺地区　652990/海南地区　545555

対話集会（関西ブロック）が開かれる！！
～組合員の声を日本製鉄労連に～

日本製鉄労連は、６月１６日（火）に第８期前半年度におけるこれまでの活動について、日本製鉄労連と職場の認識の共有化を図り、後半年度の活動へつなげていくことを目的に「対話集会」（関西ブロック）を開催し、和歌山労組から執行部２名、支部長６名が参加しました。

はじめに、主催者を代表して幸野会長より「ＡＰ２６春季取り組みの振り返り」と「取り巻く環境と中長期経営計画」について挨拶があり、５月２０日に発生した死亡災害についても触れられ「引き続き危機感と緊張感を持って作業に臨むとともに、相互注意や積極的な声掛けが気兼ねなくできる職場風土づくりをお願いする」と述べられました。

その後の分散会では、日本製鉄労連に対して組合員の皆さまから寄せられた様々な意見や要望について、各単組の代表者から積極的な発言があり、活発な議論が交わされました。

最後に、加藤副会長・小寺書記長より、今回いただいた意見・要望を後半年度の活動に活かし、第８期活動方針（案）の策定に取り組んでいく旨の答弁がありました。

和歌山労組は、より良い職場づくりに向けて、現場で働く組合員の皆さまの声を、引き続き日本製鉄労連へと力強く届けてまいります。



【幸野会長挨拶】



【対話集会の様子】

対話集会での和歌山労組の発言内容（一部抜粋）

○６則・ルール不遵守、基本行動に起因した災害が後を絶たない状況となっています。６則・ルール遵守・基本行動の徹底に向けてどのような取り組みが必要と考えますか。

●和歌山では本年３月、関係協力会社において高所作業中の転落による休業災害が発生した。これを受け、作業者全員にヒアリングを実施したところ、安全帯の着用が義務付けられているにもかかわらず「半数以上の作業者が未着用のまま作業をした経験がある」という実態が浮き彫りとなった。今回の災害が示す通り、作業への慣れから生じる「これくらい大丈夫だろう」といった過信や油断が、ルール違反や近道行動を招いていると考える。この現状を打破するためには、危険な行動に対して作業者同士が躊躇なく、厳しく注意し合える「風通しの良い職場環境づくり」が不可欠である。

○今次春季取り組みは、基本賃金の改善を最優先としたうえで、諸手当などの改善も含め要求を行い、未回答項目などがあったものの総合的に受け止められると判断し妥結してきましたが、要求・回答全般を振り返り意見などはありませんか。



●物価高騰が家計を激しく圧迫する中、月例賃金１０，０００円の増額、さらには２７年ぶりとなる交替勤務者の年間休日３日増という回答を引き出したことは、連合会の粘り強い交渉の賜物であり、現場からも高く評価する声が上がっている。この成果は、組合員の生活不安を払拭するだけでなく、喫緊の課題である若手の離職防止や優秀な人材の確保に大きく寄与するものと確信している。一方で、常昼勤務者の休日増が見送られた点や、２４時間連続操業の最前線を支える交替手当等の改善が未回答に終わった点については、課題が残るものの、会社側が「世間相場や他社水準を引き続き注視する」との見解を示したことは、次期に向けた重要な足掛かりであると認識しており、残された課題解決に向け、継続的な交渉に期待する。

○ワーク・ライフ・バランスの実現と多様な人材の活力発揮に向け、各種制度の運用面を含めて改善すべき点など、意見・要望はありませんか。

●各種支援制度が「気兼ねなく」利用できる職場環境の構築について要望する。和歌山地区でも男性社員の育児休業取得が増加するなど、制度の充実は着実に進んでいると評価している。しかし実態として、タイトな人員状況下では制度利用者の穴埋めが周囲の早出・残業に直結しており、「同僚に気を使ってしまう」という心理的ハードルが利用の妨げとなっていることも事実である。組合員がためらうことなく制度を活用できるよう、適正要員の確保によるバックアップ体制の構築を強く求める。

●交替勤務制度の抜本的な見直しである。当社の交替勤務は「４組３交替制」が基本であるが、同業のＪＦＥスチールの一部職場や近隣の花王などでは「４組２交替制」が導入されており、年間休日も約１８０日と我々より大幅に多いのが現状である。移行に伴う様々な課題は認識しているが、他社との労働条件の差は今後の人材確保においても懸念材料となることから、現場の活力発揮のため、４組２交替制の導入を含めた交替勤務の抜本的改善に向けた検討を強く要望する。



新入組合員研修会を開催しました

和歌山労組は、６月から新たに組合員となられた方を対象に新入組合員研修会を開催しました（６月１日：エリア社員３６名、６月９日：グローバル社員１７名）

冒頭、組合代表からの挨拶では「安全が最優先であり、配属先では慣れによる何気ない行動を防ぎ安全意識・緊張感を持って日々過ごしてほしい」と呼びかけるとともに、今後の組合活動への理解と協力などが述べられました。研修会では、和歌山労組の活動内容や運営について説明を行ったほか、村田きょうこ参議院議員からのメッセージ動画を視聴してもらい、労働組合の政策実現活動等への理解を深めていただきました。

和歌山労組は、新たに組合員となられた皆さまの今後のご活躍を期待しています。



研修会：エリア



研修会：グローバル

笑顔と歓声が弾けた！
青年女性部「夏フェスタ」開催

青年女性部は、６月６日（土）に片男波海水浴場にて「夏フェスタ」を開催しました。当日は晴天に恵まれ、青年女性部員や各支部の応援者・ご家族をはじめ、共催であるＮＳＧＲ和歌山ブロックの仲間の皆さまにも多数ご参加いただきました。

メインイベントとなるチーム対抗戦では、７チームが「ビーチバレー」「障害物リレー」「ドッジボール」「綱引き」「チーム対抗リレー」の５種目を競い合いました。さらに、今年からの新競技「支部対抗コーン倒し」も行われ、砂浜に足を取られながらも、勝利を目指して全力で挑む参加者たちに周囲からは、大きな声援が送られました。また、青年女性部委員が運営した焼きそばや唐揚げ、冷たいアイスなどの屋台も大好評で、会場は終始笑顔があふれるイベントとなりました。

閉会式での結果発表では、チーム対抗戦は見事「総務支部・工程技術支部・品質管理支部・ステンレス支部・鋼片支部」の合同チーム（Ｆチーム）が総合優勝に輝きました。そして「支部対抗コーン倒し」では「小径製管支部」が抜群のチームワークで見事初代王者に輝きました。

今後も青年女性部は、職場の垣根を越えて繋がりを深められる楽しい企画をお届けしていきます。次回もぜひ、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。


屋台運営の様子


優勝に輝いたＦチーム


ドッジボール


綱引き


支部対抗コーン倒し


チーム対抗リレー



今回の「夏フェスタ」開催にあたり、準備を進めてくれた実行委員および、ご協力いただいた各支部の皆さまに、心より感謝申し上げます。

組合員投稿コーナー

中径製管支部
半﨑　惇志です。

テーマ「夏の計画」

私の「夏の計画」は、旅行に行くことです。まず、第一弾として前々から行きたかった、兵庫県神戸市にある「風見鶏の館」と「うろこの家」に行ってきました。この建物は、アニメの聖地やNHKのテレビドラマ「風見鶏」の舞台になっていることもあり、観光客や外国の方でとても賑わっていました。

そして、第二弾として宮城県と福島県の旅行を計画中です。この旅行の目的は“食”と“自然”であり、宮城県では牛タンやずんだ餅、福島県では馬刺しや日本酒などたくさんのおいしい物を求めて街を散策し、夜には磐梯山の自然や星空を眺めたいと思います。



風見鶏の館



うろこの家





グランドボウル「団体予約料金」改定のお知らせ

・組合契約施設グランドボウルにて、団体予約時の料金が改定されます。

改訂前　平日：1,000円・土日祝：1,100円　（２ゲーム料金+貸靴代／人）

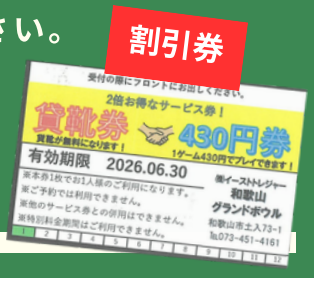
⇒ 改定後　平日：1,200円・土日祝：1,300円　（２ゲーム料金+貸靴代／人）



・組合会館では【貸靴無料 ＋ 1ゲーム430円】が1枚になった割引券をお配りしています。
グランドボウルをご利用の際には、ぜひ組合会館へお立ち寄りください。







清末議員相談窓口　７月スケジュール



清末議員相談窓口の、７月のスケジュールが決定しました。

７月　８日（水）　１７：００～１８：００　海南組合事務所
７月２２日（水）　１７：００～１８：００　組合会館
７月２９日（水）　１７：００～１８：００　組合会館

８月以降の日程につきましては、組合ニュースで改めて告知します。